

で議論すべき。公共施設の再編はトップダウンでなく、まちづくりの視点で市民とともに計画すべき。

《介護保険料の引き下げを》

問) 保険料値上げでデイサービスを利用できなくなった市民がいる。負担増ではサービスの抑制になってしまう。

部長) 介護を本当に必要とする方が利用できない状況はあってはならない。

*実際に利用できない実態がある。介護保険料の引き下げを求める。

西国分寺駅北口、新庁舎建設問題等



日本共産党国分寺市議団 岡部 宏章

<西国分寺駅北口まちづくりのあり方は>

岡部: 更なる大型開発を西国分寺駅北口で進めるのはふさわしくない。駅直近の地権者の方々と構成する協議会が東村山駅西口、武蔵小杉駅南口、八王子駅南口等の再開発の視察に行った際に市の職員も同行したのか。

答: 市の職員も同行し、市としても学習をさせて頂いている。

岡部: 再開発と決定したわけではないと言いながら、明らかに再開発を視野に入れている。民間のマンションや大型店舗の建設に税金を投入していくことは政策判断としてふさわしいのか。

答: 再開発事業で行うとした場合はその制度の中で必要ならば市の負担はしていくことになる。(と否定せず)

<新庁舎建設予定地は市民の中で議論を>

岡部: 新庁舎建設を否定するものではないが、新庁舎が市内のどこに立地すればアクセスしやすいかという点や、各候補地の地域のまちづくりがどうなるのかに関して比較検討がまともにされていない。分析が極めて不十分だ。

新庁舎の建設場所を来年度中には決めたいと市長が記者会見で述べたとする新聞報道があるが、真偽のほどは。

答: 記者会見では予想として話した。オリンピック需要の時期との関係で来年あたりに場所を決めていったほうがいだろうという趣旨。

岡部: だとしたらあまりに時間が無い。市庁舎の場所という重大問題を市民参加がないがしろにされたまま進めるのは絶対に認められない。

岡部: 新庁舎建設へのPFI方式の導入検討では極めて根拠の薄い試算がされている。12年前に市民文化会館をPFI方式によって建設する計画が頓挫した教訓も踏まえられていない。

答: 事業手法については様々な費用の算定をしっかりとやっていく。(と答えるに留まる)

その他、視覚障害のある方が駅ホームから転落、死亡する事故が相次いでいることを受け、ホーム柵の設置や当面の安全対策について取り上げました。

国分寺まつり出店拒否は「人権問題」



日本共産党国分寺市議団 幸野 おさむ

幸野) ◆国分寺まつり出店拒否は憲法違反◆東京弁護士会からの要望書について、部長は「対応を検討中」と答弁しているが、井澤市長は「何

を検討するよう」指示したのか。

部長) 現時点では担当レベルで検討している。市長からは特別な指示は受けていない。

幸野) 東京弁護士会から「人権侵害だ」と言われて、3カ月もたつのに、市長が何も指示をしていないことが大問題だ。人権感覚が欠けている。東京弁護士会に回答もしないのか。

部長) 回答をするかしないかも含めて検討中。

幸野) 市長は3年半前の所信表明で「日本国憲法と自治基本条例を守る」としたが、両方とも違反する市政になっている。深刻な事態だ。

◆総合ビジョン案の大問題について◆

市は現行の第四次長期総合計画の評価・総括をまともに行っていない。市民自治や日本国憲法の精神も削除している。具体的な実行計画については「市民説明会」も「パブリック・コメント」も行う気がない。やり直すべきだ。

部長) 市民の声を聞くように進めている。

幸野) ビジョン案では市の課題を「人口減少」としているが、現実には「人口は増加」している。「人口は減る」から「財政は厳しい」として「公共施設は統廃合」し、市民に負担と我慢を押し付けている。市政を転換すべきだ。

副市長) 市の人口が増えているのは事実。しかし、人口ビジョンの推計は堅く見積もった。

幸野) ◆学校の教室と、学童保育所の増設を◆第九・第十小学校以外の教室についても、必要な学校について計画的に増設を検討すべき。

部長) 増築は時間がかかる。適切に対応する。

幸野) 学童保育所は計画通り増設できていない。学校の教室同様に市長が指示をすべきだ。

部長) 国の補助金活用の方向性が明らかになってきた。今後、精力的に活用していきたい。

◆子どもの医療費の完全無料化を◆

過去に何度も質問。所得制限の撤廃を求める。

部長) この間検証してきた結果、詳細な部分までたどり着いた。しかるべき時に報告したい。

人口減少待たなし、未来を見据えた課題解決を



自民党国分寺市議団 本橋 たくみ

●市庁舎の建設について

本橋) 市民サービス、防災面からみても早急に市役所の建て替えを検討していく時期に来ていると考えるがどうか。市) 財政状況をみながら時期について判断していく。

●出産支援について

本橋) 練馬区では第3子以降に20万円の支給や渋谷区では10万円の出産祝い金の制度が導入されている。少子化を解消するためには面白い取り組みであると思うが、担当の認識は。

市) 全国の自治体の取り組みについて研究していきたい。

●保育政策について

本橋) 市ではこれまで待機児童の取り組みを積極的に行ってきた。ここで保育士の処遇を改善するために、8万2千円が上限で、国や都から家賃補助していくという方針が示されたが、市の検討状況を問う。市) 他市の動向、法人の意向を踏まえて検討していく。

●学童保育所について

本橋) 学童保育所については狭隘状況が問題となっている。解消を市として取り組むべきだと考える。市) 民設民営学童誘致、また学校施設を有効利用しながら取り組んでいく。

●都市計画道路国3・2・8号線について

本橋) 平成28年度中、2月ないし3月頃に暫定開通をするとのことだが、近隣住民への情報提供をしっかりと行っていただきたいがどうか。市) 市民に対する情報提供をしっかりと行っていく。

●スポーツ振興について

本橋) けやきスポーツセンターのグラウンドを拡幅などして、スポーツ環境の向上を行っていただきたいと考えるがどうか。市) 様々な課題を整理した上で判断していきたい。

●西国分寺駅北口の再開発について

本橋) まちづくり推進地区指定に向けて動いているとのことだが、市としても積極的に関与していただきたい。市) 地域住民の意向を踏まえて関与していく。

井澤市政3年半の財政再建を更に推し進めよ!



国分寺政策市民フォーラム 木村 徳

木村=井澤市政になり3年半が経過したが、振り返って、実現できたことは何か。

市長=一番に注力したのは財政の健全化で、臨時財政対策債も借り入れず基金の増加も図ってきた。また迅速さという点では職員にも現場主義を徹底し、さらには思いやりのある市政という点では市民それぞれの立場に立って考える市政にしていくことができた。今後も丁寧な説明をしながら進めていく。

木村=確かにあらゆる政策を実現する為には財源が必要で「持続可能な自治体経営」が基本だ。しかし市民一人当たりの基金積立額は未だ多摩26市中25位で、長期計画では35億円としている財政調整基金残高も、100億円以上積んでいる市も多く、少なすぎる。更なる財政改革を。

政策部長=平成18年以降、扶助費支出も倍増し100億円以上だ。来年度からの長期ビジョンの8年間の見込みを立てて財政運営に当たる。

木村=職員の人材育成に関わり、以前も指摘した、幹部職員たる部長職と、課長職の間に部長候補の位置づけの役職を設け、部長としての組織マネジメントと課長としての個別事業対応を兼ねさせるべきとした件の検討状況は。

総務部長=東京都では既に導入されている統括課長を検討中である。

木村=まちの魅力発信に関し、様々な分野で世界の一線で活躍されている方々を名誉市民になって頂くことでの発信力は大きい。ぜひ実現を。

総務部長=既存の市表彰条例施行規則を改正し、対応していきたい。

木村=ふるさと納税の新たな取り組みとして銘板に名前を刻む等の取り組みの検討状況は。

政策部長=29年度実施予定で、現在、例規整備等を行っている。

木村=副市長職は大きな影響力がある役職なのに、地方公務員法や職員倫理条例の適応外で、国では禁止が強化されている天下りが実質放置されている。条例等で罰則も含めたルール化を。総務部長=他自治体の例など、様々な角度から研究させていただきたい。

